

TASHIRO

NEWS LETTER 143

発行 田代稚恵美ピアノ教室

ピティナピアノコンペティション2025、今年はこちらの教室から、海老原要（小2）がA1級（小2までの部）吉田侑永くん（小3）がB級（小4までの部）、金子舜くん（小6）がC級（小6までの部）に挑戦しました。男の子3人の挑戦で、私はこの子達を『スリースターズ』と呼んでいました（笑）昨年、海老原要が加わり、まだなんだか遠慮している雰囲気だったのが、今回は、お互いを「仲間」として認識し、本選の前や、お互いが不調の時には応援Lineを出したり、励まし合っている姿を目の当たりにして、やはり、同じ目標に向かって頑張る仲間っていいなあと再確認しました。

ピティナのコンペティションは時代毎にそれぞれ課題曲を選び、予選で2曲、本選で残りの2曲を弾きます。バロック、クラシック、ロマン、近現代の時代によって、また、作曲家によって求められる音も違いますので、これが勉強にもなりますが、4曲とも上手に弾くことは本当に難しいと思います。参加した3名はやはり曲の中で得手不得手があり、4曲を弾きこなすために相当苦労していました。そして、ただ弾けるだけでは予選通過は難しいので、楽曲の分析、その場面にどういう音が合うのかを考えていきます。そしてその表現が人にどうやったら伝わるのか。。。

今年も吉田侑永くんのお母さまが取手ウェルネスホールの貸し出しに応募して下さい、他の子達にも情報を下さったので、本選前に侑永くん、舜くんが取手ウェルネスホールでホールレッスンが出来ました。ホールでは一番奥の方に私が座ってレッスンをしましたが、普通に弾いては音も飛んでこない、何をやりたいのかという彼らの主張も甘くなることを痛感しました。このホールレッスンの機会は彼らの意識レベルも変え、その後の音楽が大きなものになりました。暑い中の熱き闘い。夏休みで同年齢の子達が気を抜いて遊びや旅行に出掛けているのを横目に見ながらの努力、並のものではありませんでした。一夏超える度に大きな大きな成長を見せる参加者達。可能性の扉をどんどん開いていく勢いです。よく頑張りました！

侑永くんの銀賞の演奏がお聴き頂けます。 <https://www.youtube.com/watch?v=MWmcAeDpiXU>

第49回ピティナピアノコンペティション 2025



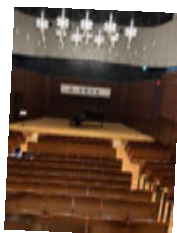
全国決勝大会
応援の金子さんと



全国決勝大会
侑永くんと田代

全国決勝大会
銀賞
吉田 侑永（B級）

全国決勝大会
浦安音楽ホール



全国決勝大会2日目参加の子達の
記念写真 前列ド真ん中が侑永くん

東日本3本選
第4位



本選

本選第4位

吉田 侑永 (8/7 東日本3本選 B級)

本選奨励賞

吉田 侑永 (8/5 東日本茨城本選 B級)

海老原 要 (8/6 東日本茨城本選 A1級)

金子 舜 (8/6 東日本埼玉2本選 C級)

予選

予選優秀賞

海老原 要 (6/22 取手)
吉田 侑永 (6/29 つくば)
吉田 侑永 (7/13 町田 5)
金子 舜 (7/20 さいたま南)

予選奨励賞

金子 舜 (7/13 町田 5)

リハーサル参加

吉田 侑永 (6/8 船橋 2)
金子 舜 (6/8 船橋 2)
海老原 要 (7/24 江戸川)
吉田 侑永 (7/24 江戸川)
金子 舜 (7/24 江戸川)



予選優秀賞！
金子舜くん



予選会場で
海老原要



全国決勝大会
侑永くんのご家族





吉田 侑永くん

吉田侑永くん（小3）は3回目の参加。昨年もA1級で全国決勝大会に進んでいます。しかし、今回はB級。課題曲のレベルも格段に難しくなります。まず、侑永くんの爺じ婆ばが侑永くんの練習用に家にグランドピアノを購入して下さいました。レベルが上がるとアップライトピアノでは出来ないことも多くなりますが、これは、まず、本当に有難い事でした。本選の第1回目は1000人のキャパのノバホール。音が広いホールの隅にまで飛ばないといけません。ノバホールでは音が後ろの席まで響くいい演奏をしました。が奨励賞。本選では第1位か2位まで、参加人数の多い地区は3位4位までしか全国決勝大会に進めません。

「普通」に上手ではダメなんです。次の本選までの中一日で徹底的に練り直しました。侑永くんはそれを2回目の本選という緊張の場で全部やってのけました！「ステージに出てくる時には勢いをつけて元気に歩き」、「お辞儀は丁寧に」、「音をホールが一番隅の席にまで飛ばすつもりで」弾き、それぞれの曲にも「人に伝わるようなメリハリ」や「リズムの揺れ」。次々とやり切る彼の姿に感動！私の中には「これは！（全国に。。）」という期待はありましたが、コンペというのは水物。ホールにより、ピアノにより、審査員の好みにより、その日の順番により結果は違ってきます。「素晴らしい演奏だった。これでどういう賞を頂けても頂けなくても、私は今日のこの演奏が聴かただけで満足だよ！」と言い残して会場を去りました。そして、侑永くん婆ばからのバッテリーの切れかかった携帯から電話。「全国です！」泣きました。

全国決勝大会への切符を手にしたのです！ところが、侑永くんもお婆ちゃまも本選までのテンションが切れて燃え尽き症候群のようになっているのが見えました。これは勿体ない。そこで活!! 侑永くんの目にやる気が戻りました。そして、浦安音楽堂で全国決勝大会。8グループのトップバッター。これもまた素晴らしい演奏でした！全国決勝大会銀賞おめでとう！

金子 舜くん（小6）は3月30日のサントリーホールでの「国際若手音楽家コンクール」の入賞者演奏会に出演しましたので、今回のコンペはやめておくといい出すのかと思っていました。（ピティナコンペの課題曲は2月末に発表）それが、3月末に「出ます。」理由を尋ねると「田代先生と普通のレッスンをするのが嫌だから。先生には本気で叱ってほしい。」と（苦笑）「私はコンペに出ない人達にも手を抜いたレッスンをしたことはな



金子 舜くん

いよ。」と伝えたのですが、私もサントリーホールの彼の演奏に手応えを感じていたので、今回は是非参加してほしいとも思っていました。しかし、コンペのレッスンをスタートしてみると彼の中に「人より1ヶ月遅れてスタートした」意識がなかなか取れませんでした。「そんなものは取り戻せるのよ！舜くんは既にいい音を持っているでしょ。」何度も伝えました。お母さまも追加レッスンではなく、特訓レッスン（2時間以上）を何度も入れて下さいました。磨きに磨きをかけて臨んだ本選で、大きなミスをしたらしく、お母さまから「今までのご指導、有難うございました。」とお別れかと思うようなメール。「そのミスの他にも何かしてましたか？それだけ？」どうも、彼はその部の2番の演奏の筈が自分の前の参加者が欠席で1番バッターとなり、それも直前に告知されて集中する暇もなくステージに追い立てられたと。しかし、舜くんが「何を言っても言い訳になる。どんな状況でもいい演奏をしなければいけない。」と言ったとのこと。私はこの舜くんの内面の成長こそ褒めてあげるべきだと思いました。人間としての大きな成長です！ピアノだけでなく今から先、この腹の座り方は全てに通用する人間力です。そして、お母さまから電話。「奨励賞を頂きました。。。ほら！最後まで諦めない、何が起ころうとも最後まで心を込めて演奏し、丁寧に辞儀をしてステージをはける。全てが身につけていた証拠です。よく頑張ったね！本選奨励賞、おめでとう！」



海老原 要くん

海老原 要（小2）は田代の孫。2回目の参加。前回の目標は「母子分離」。甘えん坊でママから離れたがらない要をこのままでは彼の持っている力を引き出せないと感じたママが急にコンペ参加を決めた、私にとっては暴挙とも言えるものでした（笑）今回は彼自身が昨年頂いた「本選奨励賞」より上の賞がほしいという希望がありました。ところが、今回の彼のレッスンは些か骨が折れました。彼の中に自分が頑張ってる意識がある（1日8時間以上練習することもザラだったそうです。）田代はレッスンの時には「婆ば」ではなく指導だと言ってもレッスン以外で婆ばに甘える時間が殆どない。色々な思いで、レッスン中に彼は反抗して来まし

た。ママも要とよく話し合いをしたり、叱ったり、、、そんな葛藤を繰り返しながら、それでも着実に彼の音は昨年とは比べ物にならないしっかりしたものになって来ました。ノバホールでの本選。侑永くんと同じく、要も1000人のキャパのホールの一番奥まで響くしっかりした音で4曲を弾けました。私も昨年からの成長に目を見張り、これはもしかしたら、、、と期待してしまいました。本人も大いなる手応えを感じた演奏だったようです。しかし、全国には届かず。本選奨励賞。審査員の先生の数人は全国に行ってもいいと思って下さったようで素晴らしい点数と講評を下さいましたが残念でした。彼は予選の一つをとんでもなくレベルの高いところで挑戦して落としてしまいましたが、もう一つ本選があったら、と思わずにはいられませんでした。しかし、ここまでよく頑張りました、本選奨励賞、おめでとう！

流山ステップ

流山ステップ 6/28 (土)

上村 渚 (導入1)	吉田 光汰 (導入3)
奥澤 寧々 (導入3)	井坂 瑠々 (基礎5)
井坂 穂乃 (基礎5)	中村 栞 (応用1)
村岡 詩月 (応用6)	吉田 侑永 (フリー5)
川口 心愛 (フリー5)	松永 朋子 (フリー5)
金子 舜 (フリー7)	石井 那月 (フリー7)
松本菜津美 (フリー10)	

継続表彰

おめでとう！

継続5回表彰

中村 栞
松永 朋子

継続10回表彰

吉田 侑永
村岡 詩月

前列右端が吉田侑永くん

継続15回表彰

金子 舜 敬称略



右から3人目金子 舜くん

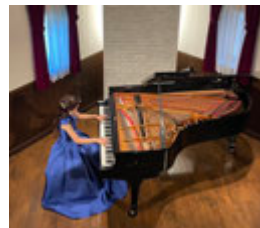
右から3人目松永朋子さん
左から3人目中村 栞さん

上記13人がステップに参加しました。初参加は上村渚さん(年長)。2月に入会したばかり、また、参加を決めたのが締切間近のステップの一ヶ月と少し前。内心間に合うかなあと心配しましたが、本人とお母様のガッツで初ステージとは思えない堂々とした演奏になりました。また、井坂姉妹はステップとサッカーの試合が被り、それでも遅い時間の「時間指定」をして参加してくれました。瑠々ちゃん、穂乃ちゃんだけでなく、真っ黒に日焼けして会場に駆けつけて下さった方お父様お母さまを拜見した時には胸が熱くなりました。新中学生の、中村栞、村岡詩月、川口心愛、石井那月さんは奇しくもプログラムの同じ部の続きの順番となり、演奏前のメッセージが「中学生になり練習時間の確保が難しい。」これを聞いたアドバイザーの先生が講評時に「新中学生が練習時間の確保が難しいとみんな言いながらピアノを続けようとしている姿勢に感動しました。」しかも、この新中学生はレッスンでは苦戦していましたが、本番では持てる力を発揮し、素晴らしい演奏をしました。



ステップ前日のホール準備に駆けつけて下さった有永真由美、石井清夏、稲垣悦子、川口弘恵、金子秋妃、金子舜、沼田佳子さん、有難うございました！！

上田萌莉ピアノリサイタル

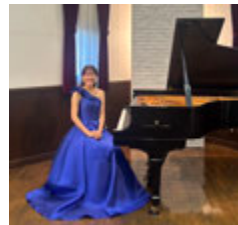


7月21日(祝:月)に代官山教会において上田萌莉ちゃんの初のピアノリサイタルが開かれました。ところが、私は仙台7月ステップのアドバイザーとして出張中💦

萌莉ちゃんからは「今回は自分の感情が身体のキャパを超えるような感覚があり、心もままに演奏できました。今自分が表現したいと思った全てを全力でお届けできて嬉しかったです！」とメール。素晴らしい演奏が出来たようで本当に聴きたかったです！

沢山の応援団が駆けつけた下さったようで、有永真由美、稲垣悦子、新関愛子、永井季代子、服部葵、ママ、服部美里さん、有難うございました。

会場で萌莉ちゃんを見守ってほしい、応援に駆け付けて下さった方々に私のお礼の気持ちを届けてほしいと私がお送りしたお花は、花屋さんの不手際で届かず💦私も勉強になりました。みなさま、有難うございました。



上田萌莉ちゃん、ドイツ留学！

今秋より、上田萌莉ちゃんがマンハイム音楽舞台芸術大学(Hochschule für Musik und Darstellende Kunst Mannheim)の修士課程で勉強することになりました。

ドイツ留学です！

受験期間に手違いで帰りの飛行機がキャンセルされたり、荷物だけが取り残されたりとトラブルの連続だったようです。家族に電話をして来た彼女の声はいつも泣き声だったそうですが、よくそのような状況下で大学のピアノの教授に連絡を取り、レッスンを入れてもらい、受験も終えて帰国できたと感心しました。自分一人で海外に行き、自分で道を切り開いたのです！

萌莉ちゃんが何年間か日本にいないと思うと寂しいですが、きっと彼女は貪欲に音楽も語学も学び、大きく成長して帰国してくれることでしょう。それを楽しみに送り出そうと思います。萌莉ちゃん頑張れ！



上田さんご一家と

麻布学園創立130周年記念事業 麻布学園OB⁺オーケストラ 特別演奏会



8月3日（日）サントリーホールにおいて、麻布学園のOB⁺

オーケストラによる演奏会が開催され、今回は今春麻布学園を卒業して慶応義塾大学医学部に行っている梅 昌大くんがオーボエで参加するということで梅さんご一家にご招待頂き、伺いました。

麻布学園出身の鈴木優人氏が指揮。やはり麻布学園出身の山下洋輔氏作曲の「サドン・フィクション」（抜粋）もオーケストラと山下洋輔氏ご自身のピアノで披露されました。昌大くんはオーボエを持って登場した時にはわかりましたが、演奏している姿は確認出来ませんでした。オーボエのソロ演奏もあったのにそれが昌大くんとは気づかず残念なことをしてしまいました。

ベートーヴェンの合唱と独唱付き交響曲第9番は4楽章。「歓喜の歌」は独唱の4人の歌手の方も素晴らしかったですが、麻布学園関係者200名以上による合唱も圧巻！最後は会場のみなさんと麻布学園応援歌、校歌を歌い会は締めくくられました。

慶應の医学部に通いながら、オーケストラに参加して、練習は夜遅くまで連日連夜続いたそうですが、本当に頭のいい子は時間の使い方も上手いんだなあと感じ入りました。



梅さんご一家と

編集後記

この夏、みなさまに速報をお届けした時の皆様からのLine、一部をご紹介します。

「田代先生、コンペお疲れ様でした！吉田くん銀賞🏆本当におめでとうございます。素晴らしい演奏、伸びやかな音、そして何よりも堂々としている姿に感動しました。特に2曲目が頭からはなれません。おめでとうございます！」

「吉田君！先生！おめでとうございます。ぶちかましてきたんですね。我が事のように嬉しいです
毎日子供達に向き合う中で、最近は小さいうちから子供達に何かに必死に取り組む機会を与える事が、子供にとってストレスで教育虐待ではないかという風潮もあって。でも私はそうじゃないんじゃないかって、子供達を見ながら日々思うんです。震えるような緊張感の中、自分の力を出しきる事と闘った経験があるからこそ、苦しめる子や一生懸命頑張っている子の気持ちがわかり、人の思いや努力を認める事が出来る人間になるんじゃないかと思うんです。
だからきっと先生の教室の生徒さんは、皆「本当に素晴らしい。おめでとう」って心から思えると思います。
勿論吉田くんの結果の素晴らしさも嬉しいんですけど、全国という想像出来ないくらいの緊張感と闘った吉田くんは、きっと誰より人の思いや痛みのわかる、人に寄り添える素敵な大人になるだろうなって思います。心からおめでとう、本当によく頑張ったねとどうか伝えてください。」

「いつになっても先生と教室の生徒さん方のひたむきにピアノと向き合い、ご自分と向き合いながら限界を越えようと頑張っている姿に感動と刺激をいただいています。
子どもたちが苦しみながらももっと上手くなると頑張っていた頃の懐かしさと共に今の我が身を振り返り、身が引き締まる思いです笑

〇と〇はコンペには参加しなかったけれど、生きていく上での頑張る強さと粘り強さは本当に田代先生に仕込んでいただいたおかげ✨「もっとちゃんと毎日練習すればよかったー」と2人口揃えてますが笑（そんときやらんかい！）
これからの皆様のご活躍も楽しみにお待ちしております♡」

これらのLineを転送した吉田侑永くんのおばあちゃまから
「先生の教室の教え子の方々とご家族の皆さんはずっと繋がりを持って、応援して下さってるんですね。頑張ってる努力している気持ちは皆同じでよく理解できるからこそ、皆さんの言葉だなとつくづく思います。夫も「自分ごとのように思ってくれる気持ちが凄い！」と話していました。」

またこんなLineも

「学習塾に入れるより、田代先生のところでピアノを教えてもらった方がいいよね。頭も良くなるし（笑）」と夫が。
ピアノから得られる力ってすごいよねー、勉強にも生かされるんだよ！と話しました。

50曲合格シート



2枚目→3枚目
石坂翔大くん

1枚目→2枚目
村岡詩月さん

50曲合格シートをこの春に作り、1曲合格する度にスタンプを押しています。

ピアノは毎日の練習が欠かせません。これが持久力、集中力、着実性、計画性を養うのですが、しかし、これはまたピアノというものを続けるときに大変な事でもあります。少しでも励みになればとこの50曲合格シートを作りましたが、こんなに次々と頑張る子たちが出るとは!!また、図画工作大の苦手の私の作ですので「ヘタクソでごめんね」と言う翔大くんが
「先生、下手じゃないですよ！3枚目は特に上手になってますよ。1枚目のはこれはなにか！と思ったけど」

😭😭😭😭😭 褒めてくれて有難う！😭